

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2021年度)

専門分野区分	IT基礎	科目名	e-ビジネス概論					科目コード	T1535B1	
配当期	後期	授業実施形態	通常					単位数	2 単位	
担当教員名	池田 大輔	履修グループ	2I(BI/BO)					授業方法	講義	
実務経験の内容	資格スクールにおいて、MS-Office (Word・Excel・PowerPoint・Access) を利用した顧客名簿の管理業務全般、及び教材の編集業務に携わった。その経験を活かし、ビジネスシーンに必要な知識やスキルを実践的に講義する。									
学習一般目標	情報技術(IT)の進化に伴い発展し続ける e-ビジネスについて、ビジネスを構築する立場から考察する。マーケティングの手法や流通の仕組みなどを理解し、卒業後の就業に役立つビジネス基礎力を身につける。									
授業の概要および学習上の助言	教科書と配布する課題プリントを併用しながら e-ビジネス構築のための基礎知識と実践事例を見ていく。ビジネス展開に必要な調査、企画立案などの事案を示し、将来仕事で使える具体的手法を紹介する。可視化、具現化するための成果として企画書作成などの演習にも積極的に取り組んでもらいたい。なお、課題プリント等は定期試験問題に反映されるため各自整理・保存を心がけること。講義内容は秘書技能検定及びビジネス能力検定ジョブパスの2級以上に対応しているので、資格取得も視野に入れ学習に取り組んでほしい。									
教科書および参考書	要点と演習 ビジネス能力検定2級(実教出版)									
履修に必要な予備知識や技能	本科目を科目単独で捉えることなく、今まで他科目で学習したことと関連付けながら復習を進めること。そのように進めることで、本科目のみならず学科全体で学んだことの理解を深めることができる。									
使用機器	電卓									
使用ソフト	特に無し									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1/3	産業と経済に関する基礎的なビジネス用語の意味を理解し、就業に活かせる								
	1/3	e-ビジネスに応用可能なマーケティングの知識を習得し、実務に活用できる								
	1/2/3	解析する視点で、統計やデータを読み取れる								
	1/3	企画・立案の方法を駆使して企画書を作成できる								
	5	科目全体を理解することで、卒業後の就業イメージがデザインできる								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解	30	20						50
		2.思考・判断	10							10
		3.態度	10	10					10	30
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							10	10
総合評価割合	50	30					20	100		
評価の要点										
評価方法	評価の実施方法と注意点									

試験	後期定期試験期間中に筆記試験を実施
小テスト	ほぼ毎回の授業で演習課題を実施する。 小テストは数回実施予定。
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	
ポートフォリオ	
その他	授業への出席、取り組みなどを含め総合的に判断する。 合格には下記各配点の60%以上が必要。 採点基準: 出席点30点 課題実習点20点 定期試験50点

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	インターネットとビジネス	講義と実習	
第2回	e-ビジネスとB to C	講義と実習	
第3回	e-ビジネスとC to C	講義と実習	
第4回	e-ビジネスとマーケティング①	講義と実習	
第5回	e-ビジネスとマーケティング②	講義と実習	
第6回	e-ビジネスとマーケティング③	講義と実習	
第7回	消費者情報の収集とデータ分析①	講義と実習	
第8回	消費者情報の収集とデータ分析②	講義と実習	
第9回	電子決済	講義と実習	
第10回	SCM の考え方と流通システム	講義と実習	
第11回	消費者行動と商品企画	講義と実習	
第12回	企画立案と企画書の作成	講義と実習	
第13回	e-ビジネスのリスク管理	講義と実習	
第14回	IoT、AI の発展と e-ビジネス	講義と実習	
第15回	e-ビジネス概論科目のまとめ	講義と実習	